年間授業計画

新宿山吹 高等学校 令和6年度　　教科 家庭　科目 家庭総合α

教　科：　家庭　　科　目：　家庭総合α　　単位数：　2　単位

使用教科書：　家庭総合　自立・共生・創造（東京書籍）

教　科　　家庭　　の目標：

【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科　目　　家庭総合α　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A　人の一生と家族・家庭及び福祉 （3）　子供との関わりと保育・福祉 【知識及び技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活，子供の遊びと文化，親の役割と保育，子育て支援について理解を深め，子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けること。 ・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，子供の生活と保育について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	指導事項 1．命を育む 2．子どもの育つ力を知る 3．子どもとかかわる 5．これからの保育環境 教材 ・教科書 ・一人１台端末の活用 ・ワークノート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。 ・保育に関する制作	【知識・技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活，子供の遊びと文化，親の役割と保育，子育て支援について理解を深め，子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。 ・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解できる。 【思考・判断・表現】 子供の健やかな発達を支えるために，子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，子供との関わりと保育・福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	14
	B持続可能な消費生活・環境 （1）生活における経済の計画 【知識及び技能】 ・家計の構造について理解するとともに生活における経済と社会との関わりについて理解を深めること。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画，リスク管理の考え方について理解を深め，情報の収集・整理が適切にできること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について，ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて考察し，工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，ライフスタイルについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	指導項目 1．持続可能な社会を目指して 2．一人一人の力で社会を動かす 教材 ・教科書 ・一人１台端末の活用 ・ワークノート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。	【知識及び技能】 ・家計の構造について理解するとともに生活における経済と社会との関わりについて理解できる。 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画，リスク管理の考え方について理解を深め，情報の収集・整理が適切にできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について，ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて考察し，工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，ライフスタイルについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改 善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けようとしている。	○	○	○	10
	C　持続可能な消費生活・環境 （2）消費行動と意思決定 【知識及び技能】 ・消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解を深めるとともに，生活情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう，消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解するとともに，契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動できるよう考察し，責任ある消費について工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生活における経済の計画について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，消費行動と意思決定について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	指導項目 1．情報の収集・比較と意思決定 2．購入・支払いのルールと方法 3．消費者の権利と責任 4．生涯の経済生活を見通す 5．家計をマネジメントする 6．これからの経済生活 教材 ・教科書 ・一人１台端末の活用 ・ワークノート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。	【知識及び技能】 ・消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解を深めるとともに，生活情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう，消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解するとともに，契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動できるよう考察し，責任ある消費について工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生活における経済の計画について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，消費行動と意思決定について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		2

	D　衣食住の生活の科学と文化 （1）　食生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・食生活を取り巻く課題，食の安全と衛生，日本と世界の食文化など，食と人との関わりについて理解すること。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，栄養の特徴，食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに，自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について科学的に理解し，目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事，日本の食文化の継承・創造について考察し，工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	指導項目 １．食生活の課題について考える。 ２．食事と栄養 ３．食品の選択と安全 ５．調理の基礎 教材 ・教科書 ・一人一台端末の活用 ・ワークノート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。	【知識及び技能】 ・食生活を取り巻く課題，食の安全と衛生，日本と世界の食文化など，食と人との関わりについて理解できる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，栄養の特徴，食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに，自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けることができる。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について科学的に理解し，目的に応じた調理に必要な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事，日本の食文化の継承・創造について考察し，工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	16
後期	実技試験			○	○		2
	D　衣食住の生活の科学と文化 （1）　食生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・食生活を取り巻く課題，食の安全と衛生，日本と世界の食文化など，食と人との関わりについて理解すること。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，栄養の特徴，食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに，自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について科学的に理解し，目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事，日本の食文化の継承・創造について考察し，工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	指導項目 ４．生涯の健康を見通した食事計画 ５．調理の基礎 ６．食生活の文化と知恵 ７．これからの食生活 教材 ・教科書 ・一人一台端末の活用 ・調理実習 ・ワークノート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。 ・レポート ・小テスト	【知識及び技能】 ・食生活を取り巻く課題，食の安全と衛生，日本と世界の食文化など，食と人との関わりについて理解できる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，栄養の特徴，食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに，自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けることができる。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について科学的に理解し，目的に応じた調理に必要な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事，日本の食文化の継承・創造について考察し，工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	16
						合計	70

年間授業計画

新宿山吹 高等学校　令和6年度　　**教科** 家庭　**科目** 家庭総合β

教　科：　家庭　　科　目：　家庭総合β　　単位数：　2　単位

使用教科書：　家庭総合　自立・共生・創造（東京書籍）

教　科　　家庭　　の目標：

【知識及び技能】	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科　目　　家庭総合β　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	B　衣食住の生活の科学と文化 （3）　住生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・住生活を取り巻く課題，日本と世界の住文化など，住まいと人との関わりについて理解を深めること。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，住生活の特徴，防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し，住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解し，快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生活における経済の計画について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	指導項目 1．住生活の変遷と住居の機能 2．安全で快適な住生活の計画 3．住生活の文化と知恵 4．これからの住生活 教材 ・教科書 ・一人１台端末の活用 ・ワークノート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。 ・住居に関する制作	【知識及び技能】 ・住生活を取り巻く課題，日本と世界の住文化など，住まいと人との関わりについて理解できる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，住生活の特徴，防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し，住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解し，快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画，防災などの安全や環境に配慮した住生活とまちづくり，日本の住文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的にを解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，住生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	16
	B　衣食住の生活の科学と文化 （2）衣生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題，日本と世界の衣文化など，被服と人との関わりについて理解を深めること。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに，健康と安全，環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理家庭ができること。 ・被服材料，被服構成，被服製作，被服衛生及び被服管理について科学的に理解し，衣生活の自立に必要な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に衣生活を営むことができるよう日本の衣文化の継承・創造につ いて問題を見いだして課題を設定 し，解決策を構想し，実践を評価・改善 し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決 する力を身に付けること。 ・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適，機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現 するなどして課題を解決する力を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践できる。	指導項目 1．被服の役割を考える 2．被服を入手する 3．被服を管理する 5．衣生活の文化と知恵 6．これからの衣生活 教材 ・教科書 ・一人１台端末の活用 ・ワークノート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。	【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題，日本と世界の衣文化など，被服と人との関わりについて理解できる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，身体特性と被服の機能及び着装について理解しているとともに，健康と安全，環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料，被服構成，被服製作，被服衛生及び被服管理について科学的に理解し，衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適，機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
	B　衣食住の生活の科学と文化 （2）衣生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題，日本と世界の衣文化など，被服と人との関わりについて理解を深めること。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに，健康と安全，環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理家庭ができること。 ・被服材料，被服構成，被服製作，被服衛生及び被服管理について科学的に理解し，衣生活の自立に必要な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に衣生活を営むことができるよう日本の衣文化の継承・創造につ いて問題を見いだして課題を設定 し，解決策を構想し，実践を評価・改善 し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決 する力を身に付けること。 ・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適，機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現 するなどして課題を解決する力を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践できる。	指導項目 1．被服の役割を考える 2．被服を入手する 3．被服を管理する 5．衣生活の文化と知恵 6．これからの衣生活 教材 ・教科書 ・一人１台端末の活用 ・ワークノート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。	【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題，日本と世界の衣文化など，被服と人との関わりについて理解できる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，身体特性と被服の機能及び着装について理解しているとともに，健康と安全，環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料，被服構成，被服製作，被服衛生及び被服管理について科学的に理解し，衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適，機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		2

後期	B　衣食住の生活の科学と文化 （2）衣生活の科学と文化 【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題，日本と世界の衣文化など，被服と人との関わりについて理解を深めること。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに，健康と安全，環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること。 ・被服材料，被服構成，被服製作，被服衛生及び被服管理について科学的に理解し，衣生活の自立に必要な技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に衣生活を営むことができるよう日本の衣文化の継承・創造につ いて問題を見いだして課題を設定 し，解決策を構想し，実践を評価・改善 し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決 する力を身に付けること。 ・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適，機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現 するなどして課題を解決する力を身に付けること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践できる。	指導項目 １．被服を作る 教材 ・教科書 ・一人１台端末の活用 ・ワークノート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。	【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題，日本と世界の衣文化など，被服と人との関わりについて理解できる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し，身体特性と被服の機能及び着装について理解しているとともに，健康と安全，環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料，被服構成，被服製作，被服衛生及び被服管理について科学的に理解し，衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適，機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	16
	A　人の一生と家族・家庭及び福祉 （4）　高齢者との関わりと福祉 【知識及び技能】 ・高齢期の心身の特徴，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め，高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けること。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察し，高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，高齢者との関わりと福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	指導項目 １．超高齢・大衆長寿社会の到来 ２．高齢期の心身の特徴 ３．高齢者の自立を支える ４．これからの超高齢社会 教材 ・教科書 ・一人１台端末の活用 ・ワークノート及びパワーポイントを活用し授業を展開する。 ・小テスト	【知識及び技能】 ・高齢期の心身の特徴，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め，高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けることができる。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察し，高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，高齢者との関わりと福祉について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	16
						合計	70